

# 広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会

令和6年2月20日発行

No.149



(まゆ玉)

新年1月15日、妻籠観光協会女性部の皆さんがふれあい館に集まり、小正月の飾りであるまゆ玉を作って宿場内に飾りました。花の色が乏しくなるこの季節、餅花やまゆ玉の赤や黄色は辺りをぱっと明るくしてくれます。

もともとこの行事は、農産物の豊作を願って餅で形を作り神様に捧げたものですから、地域によって豊作になってほしい農作物は違いがあり、米粉で作る餅の形もいろいろあったようです。妻籠のその昔は養蚕も盛んでしたし田畑も耕作していますから、餅花もまゆ玉もこころしい形でしょう。どこかで読んだ記事には、蚕の寝床となる簇（まぶし）に見立てた藁の中に鶏卵サイズのまゆ玉を飾る養蚕農家さんや牛や馬などの形を作って飾る畜産農家さんもあるそうです。

楽しくいろんな形のお餅を作って飾る、素敵な日本の行事です。

小笠原 美雪

# 第18回木曾谷狼煙あげ開催

## 木曾谷新春一斉狼煙あげに思う

木曾町地区代表 加藤 晋悟

たぶん戦国時代だろう、木曾町のある地区内に狼煙を上げることが使命で住みつき、今でもその地に住んでおられる、という話を聞いたことがあります。

それほど、狼煙をあげることがこの木曾の地を守るために重要な手段だったと思われる、そんな時代とは打って変わって毎年やっていて、天気の変動だったり、風向きだったりによって狼煙の煙が左右され、気楽な気持ちで、前後の個所の狼煙が見えた見えないと一喜一憂しています。

木曾町福島地区では4か所で狼煙あげをやっていますが、以前は一番北の狼煙の煙が見えたら次をまた次をとやっていたのですが、最近は一斉にあげるようになってしまいました。

いつの日か、木曾谷北から南まで、あがった煙のみで狼煙あげを繋げてみたいですね。どれくらいの時間が掛かるんでしょうね。



奈良井城址



塩尻東地区



関山公園



和村



小丸山



殿



宮ノ越



弓矢

令和6年1月4日、木曾谷の新春恒例行事である「狼煙あげ」に参加しました。

私は、文化財担当になってから毎年三留野の愛宕山に登っており、今回で5回目となりました。毎年狼煙をあげているため、山頂付近では青葉を集めることが困難となり、数年前から事前に採取したヒノキの葉を持ち上げています。荷物を背負って登るだけでも一仕事です。

当日は、役場の観光係職員と共に午前9時過ぎから登りはじめ、そこからドラム缶の設置など狼煙をあげる準備を始めます。登り始めた頃は小雨が降っており霧が出ていたため心配でしたが、準備が終わる頃には陽が射し霧が晴れたのでホッとしました。

いざ狼煙をあげると風の影響でなかなか真上にあがらず四苦八苦しましたが、愛宕山からは妻籠城址の狼煙がよく見えたため、昔の人は合図を送るのも大変なことだと感じました。このような木曾地区の行事が続いていくことを願います。

愛宕山



十二兼



椰野



妻籠城址



大妻籠



馬籠峠

水の始発駅公園



1月15日妻籠観光協会女性部によるまゆ玉づくりが行われました。



## 第56回文化文政風俗絵巻之行列開催

木曽地域振興局長 渡邊卓志

4年ぶり通常規模による「文化文政風俗絵巻之行列」が無事開催されましたこと、大変お喜び申し上げます。また、関係者やスタッフの皆様にも素晴らしい機会を創出していただき深く感謝申し上げます。

さて、当日は花火音による行列スタートにワクワクし、街道沿いで地域の皆さんによる賑わい及び妻籠宿内における国内外からの多くの観光客などに驚くばかりでした。

また、昼食時は、妻籠を愛する会の藤原理事長様のご案内で、「尾張万歳」や「さいとろさし」を観覧させていただき、行列とは違った風情も感じさせていただきました。

昭和43（1968）年開始の行列は半世紀以上の歴史があり、その重みが地域づくりに活かされてきたことに敬意を表するところです。

地域が様々な課題を抱える現在、妻籠宿は、時々の流れと上手に調和することで、今後も歴史の重みを大切にしつつ、未来へつなぐ地域づくりに貢献されることを願っています。

結びに、江戸時代の在りし日に思いを馳せながら、晩秋の木曽路を歩けたことに感謝しつつ、行列や地域の末永い持続的発展を期待します。



今年の風俗行列は天候に恵まれ、最高の日でした。

私が初めて参加したのは20年程前のことです。当時、読書小学校で担任をしていた子どもたちや同僚と参加しました。初めてのことでしたので、妻籠の保護者の方々や知り合いに口添えをいただいていたのでした。

子どもたちには妻籠の魅力を知ってほしい、という思いがありました。

昨年、久しぶりに参加しました。あいにくの雨でしたが、宿場の中を歩いていると、同僚の着ている着物を見て、「私の着物。」というおばあちゃんの声が聞こえてきました。懐かしそうな嬉しそうな声でした。若い頃着ていた着物がこうやって違う人に着ていただいている、なんて素敵なことだろう、と思いました。

真っ赤に色づいた紅葉の中を、わらぞうりを履き、着物を着て、同僚やその日に出会った方々と楽しく歩いた一日。沿道からも、たくさんの方に声をかけていただき、嬉しかったです。

このように参加できましたのも、「妻籠を愛する会」の方々の細部にまでわたる心配りのおかげ、と心より感謝いたします。



〈城山口：もう少しで恋野〉



〈紅葉の中を大妻籠へ〉



## 初めてのしめ縄作り

下町 小笠原美雪

12月19日、町並みふれあいセンターの会議室にて開催されたしめ縄作りに初参加しました。「寒いから座布団を持っていった方がいい」と耳にしたので、背中にカイロを貼り付け座布団を抱えて行きましたが、新しい部屋はエアコンが効いてとても暖かく、助かりました。

縄をなうのは祖父や父がやっているのを見ていましたし、自分でも数回は経験していましたが、しめ縄の「左ない」は初めてで説明を聞いても「??？」という状態でした。『左手を上』『反時計回り』というキーワードを頭で唱えながら挑戦しましたが、最初は縄とは到底呼べない、つまりわら束を作ったに過ぎませんでした。2本めでようやくコツがつかめ、なんとか玄関用のしめ縄ができました。3本目は神棚用。会議室に集まっていた皆さんはお宮のしめ縄を作っており、縄というより綱と言えるほど太くかっこ良いものが出来上がっていきます。時折、つたむらやさんが横に座って様々なコツを教えてください、三つ編みのすばらしいしめ縄を神棚にあつらえることができました。

昔、祖父が水につけたわらをよく木槌で叩いてから縄をなっていた思い出を話すと、「神様のものだから、しめ縄は叩かないんだよ」と教えていただきました。また、縁起の良い数で縄をなっていたり稲穂の先を上手く端に持ってきたり、といろいろと考えながら作り上げることを知り、とても勉強になりました。

この年になってもまだ学べる場があることをとても有り難く感じ、また来年も挑戦しよう、と心に決めて帰宅の途につきました。



## 令和6年文化財防火デー

総務委員長 今井啓文

本年度の文化財防火デーの訓練は、初期消火を念頭に消火栓からの放水とポンプ車を使って新しいホースの体験を予定しておりましたが、寒波の影響で凍結が考えられ、水を出す事なく行われました。

今までも何度も行われている事ですが、繰り返し訓練する事がいざという時役立つとの事で、消防団員の指導のもと、ホースのジョイントなど体験していただきました。また南分署の皆様から、ホース全体均等に穴が空き、噴水の様に吹き上がり、水のカーテンを作り火災現場から逃げ道を確認出来る様なホースも見せてもらいました。

後半は南分署の青木さんによる講話をしていただきました。最近老朽化したり、埃の溜まったコンセントによる火災が多い様で、コンセントは3～5年を目処に、また1500Wが使用限度との注意がなされました。また、正月の能登半島地震の折、救援に行った話や土砂崩れのビデオも見せていただき、風水害などの折には安全に逃げるのが一番との話をされ、常に万が一に備え日頃からの備品の準備、家とその環境を見渡し、安全を計る事が大切かと思われれます。

本年度も木曾消防署南分署及び消防団員の皆様の御指導をいただき、感謝申し上げます。

また、能登半島地震で被災された方々にお見舞い申し上げます、早い復興を願っております。



# 宿場 暦

- 11月1日：町政報告会（町並み交流センター）  
 2日：一石柘立場茶屋作業（5名）  
 6日：衣装部会、撮影許可審議委員会  
 7日：衣装部着付練習、南木曾町リニア中央  
 新幹線対策協議会（理事長・常務）  
 8日：國學院大學「観光まちづくりフォーラム」  
 （東京・理事長）、Tru Japan Tour 撮影  
 9日：衣装部着付練習  
 10日：第56回文化文政風俗絵巻之行列第2回  
 実行委員会、長野朝日放送撮影  
 11日：行列衣装準備（衣装部会）  
 13日：行列幟旗立て  
 14日：木曾谷狼煙あげ連絡会（木曾町・理事長）、  
 衣装部着付練習、長野県観光機構撮影  
 15日：衣装準備・行列衣装運びだし（衣装部会）  
 16日：文化長野学園来宿  
 17日：撮影許可審議委員会  
 20日：広報「妻籠宿」148号発行、行列部長  
 会議、統制委員会、行列木戸組立  
 23日：第56回文化文政風俗絵巻之行列  
 28日：町道妻籠町中線工事説明会  
 （田原家・理事長）  
 30日：観光総合研究所公開講座  
 （名古屋市・理事長）
- 12月1日：三役会  
 6日：行列衣装整理（衣装部会）  
 8日：地域づくりネットワーク木曾支部視察  
 研修（辰野町・理事長）  
 9日：日本ナショナル・トラスト全国大会  
 （東京・理事長）、衣装部会  
 12日：消火栓点検（総務委員会主催）  
 雨のため3月に延期  
 14日：妻籠宿案内人の会役員会、長久手市観  
 光交流協会来宿（杖50本寄贈）  
 15日：行列反省会  
 17日：南木曾町リニア中央新幹線対策協議会  
 現地視察（常務）、しめ縄を作る会（分館）  
 18日：広報部会、妻籠地区地域振興協議会役員  
 会（理事長）  
 20日：統制委員会  
 21日：木曾風景街道推進協議会中山道研修下見  
 （諏訪市・理事長）  
 28日：事務所仕事納
- 1月 4日：新春放談会（17名）、  
 第18回狼煙あげ（17か所・218名）  
 5日：夜回り開始（～2月24日）  
 9日：長野放送撮影、信越放送撮影

- 12日：氷雪の灯まつり実行委員会（常務）  
 15日：妻籠宿案内人の会学習会・昼食会、  
 まゆ玉作り（観協女性部）  
 17日：広報部会  
 18日：南木曾町リニア中央新幹線対策協議会  
 （理事長・常務）  
 19日：理事会  
 22日：統制委員会  
 24日：街道観光講演会（名古屋市・理事長）  
 25日：木曾地域文化遺産活性化委員会（木曾町・  
 理事長）、広報部会  
 26日：文化財防火デー（44名参加）  
 27日：地域づくりネットワーク木曾支部見学会  
 （木曾町わんぱく村・理事長：中止）  
 28日：令和5年度第4回観光地点パラメータ調査  
 29日：撮影許可審議委員会

## 統制委員会審議事項

- 11月20日  
 ・防護柵取替え（町教委：大妻籠） 1件  
 ・転落防止柵・ロープ設置（町教委：橋場） 1件  
 ・災害復旧（護岸復旧）工事  
 （県：尾又八起前・大妻籠） 2件  
 ・外壁塗装工事（尾又：個人） 1件
- 12月20日  
 ・防護柵取替え（再審議）（町教委：大妻籠） 1件  
 ・耐候性シート設置（関電：妻籠発電所） 1件  
 ・住居除却（恋野：個人） 1件  
 ・国道256号維持工事（支障木伐採）  
 （建設事務所：橋場） 1件  
 ・支障木伐採（町：尾又） 蘭川法面 1件
- [その他]  
 ・橋場石柱道標付近支障木伐採：町教委 1件  
 ・引込線新設：交流センター前街灯  
 （中電：2月初旬事前着工） 1件
- 1月22日  
 ・引込線新設（中電：交流センター前） 1件  
 ・支障木伐採（教委：妻籠城址景観保持） 1件  
 ・電柱新設及び電線撤去・新設（中電：恋野） 1件

### 【統制委員会からのお知らせ】

重伝建地区内で家屋の修繕等行うときには、事前に統制委員会への届出が必要となります。申請用紙は愛する会にあります。

また、補助金が出る場合もありますので、町教育委員会又は愛する会事務局にご相談ください。

景観保持のため、宿場内での路上駐車はやめましょう！

発行：公益財団法人妻籠を愛する会  
 〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻2159-2  
 TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

下町 磯村 琢 弥

今回は大高取の舟ヶ島にある道を紹介します。舟ヶ島という地名は与川にもあるそうですが、何とも不思議な地名です。今回紹介する道は軽便道出口から 256 号線を少し蘭方面に行き、蘭川に向かって下りていく分かれ道の先にあります。ここを下ると土木会社の資材置場があり、左側に水路が通っています。この水路に沿って道が奥の方まで続いています。手入れがされていて歩きやすいです。



〈水路右側を歩きます〉

しばらく歩くと田代沢を渡る橋の前で道は二手に分かれ、左の道は上の民家の車庫横に向かい、右の道は橋を渡り小屋の裏で左に曲がります。この場所は土手の右上に石像があり、雰囲気の良い道になります。ここからは上り坂になり途中で農地跡や民家の跡のような土地があり、大亀石と呼ばれる二つに割れた大きな岩があります。



〈ここからは上り坂です〉



〈大亀石〉

近くに住んでいた方は下町に引っ越して仕立て屋さんを開いたそうです。この大亀石、以前より傾いてきているのでいつか倒れてしまいそうで心配です。この岩が描かれている地図を使った五平餅屋のポスターが恵那峡サービスエリアのフードコートに貼ってあるので、寄る機会があったら探してみてください。さて大亀石から少し奥にたくさんの石造物が祀ってあります。この中には 1680 年に造られた庚申塔もありますが、この道はそんなに長い間崩れずにきたのでしょうか。それとも大平街道を切り拓いた時に移設したものののでしょうか。もしずっと昔からここにあったのなら、きっとたくさんの人がこの前を歩いたのだらうと想像してしまいます。幕末、水戸天狗党の人たちもこの前を通り橋場まで行ったのではないのでしょうか。



〈庚申塔〉

さてこの先で道は二手に分かれ、左の道を行くと竹藪から 256 号線へ、右の道を行くと使われなくなった大平街道へ出ます。実はこの道を紹介する前に妻籠発電所前から小高取を通り、橋場バス停まで行く道を書きたかったのですが、難しすぎて諦めました（そもそも立ち入り禁止箇所だらけ）。いつか紹介したいと思っています。



〈恵那峡上り SA に貼ってある地図〉